

多々良川ゆめプラン事業2009	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成22年3月28日(日) 14:00~16:00
団体名：ふくおか湿地保全研究会	開催場所	多々良川河口域
行事名：多々良川清掃&いきものミニ観察会	参加人数	22名
<p>今回のわくわく体験の概要：はじめに、オカミミガイを見てもらい、ヨシ原の大切さを訴えた。また「絶滅危惧種に気をつける」を見ていただき、芽を出したばかりの植物などに気をつけて、ゆっくり回収していただくようお願いした。清掃を約1時間行い、ゴミを集荷、写真撮影。双眼鏡・望遠鏡で鳥やトビハゼなどを観察。各種資料を配布。 回収したゴミ：可燃物32袋、不燃物6袋、ルアー3個、自転車、車のタイヤ、丸型アンテナ、プラスチック製品、ステッキなど</p>		
<p>参加者の感想：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パッケージで便利になっているけどそれがこうなっているとは。興味なかったが、市役所で剥製とチラシを見て参加して初めて気が付いた。貴重な体験をありがとう。また参加します。 ・この付近をウロウロするので、ゴミが多い、汚いと思っていたが、自然がこれだけ残っているとは思わなかった。来月もまた来ます。 ・きりがいいごみにびっくりした。捨てる人が悪い。 		
<p>活動団体の感想：地元のシルバー人材センターの健悠会の7名のみなさんが、のぼりを持って初めて参加され、リコーテクノシステムズの5名の方は昨年に続いて参加していただきました。区役所で剥製とチラシを見て参加された方、松島公民館だよりを見て参加された方もおられ、ありがたいことでした。 数ヶ月ぶりに清掃するヨシ原の中には、ペットボトルをはじめとするゴミが堆積し、みなさんびっくりしておられました。観察は、クロツラヘラサギやホウロクシギなどを、双眼鏡や望遠鏡で見てもらいました。 トビハゼが動く様子を望遠鏡で見てもらうと、飛んだ！飛んだ！と歓声が上がりました。</p>		
		